

タマネギの収穫機械実演会の開催

～規模拡大を目指した機械導入に向けて～

長生農業事務所改良普及課 令和6年5月02日発

農業事務所では、タマネギ産地の維持発展に向けて、規模拡大を目指した機械導入を推進しています。4月23日にタマネギ生産者を対象に、機械導入した際の収穫作業の省力効果を確認して貰うために、タマネギ収穫機械の実演会を開催したところ、関係機関を含め33名の参加がありました。当日は、JA 長生、機械メーカーの協力のもと、莖葉処理から掘り起こし、拾上げ作業まで一連の流れを実演しました。長生地域のタマネギは柔らかいため、ピッカー以降の工程では傷を防ぐ対策が必要ですが、掘起こしまでの作業は機械化できることが確認できました。生産者から、根切機やピッカーに興味を示す声が挙がりました。

農業事務所では、今後も費用対効果などを検討しながら、作業の省力化と規模拡大に向けた機械導入を目指して支援していきます。

※ピッカーは掘起こされたタマネギを拾上げて、コンテナに集める収穫機械。



収穫機械について説明



収穫機械実演の様子